

11月に入り、急に冷え込む日があったり、寒暖の差が激しくなってきました。体調を崩さないように気を付けて下さいね！

今月は、楽しみにしていた“お茶を点てる”ことに挑戦！初めて触るお茶筥(お茶を点てる道具)、そして、お抹茶とお湯の入ったお茶碗を目の前に、ドキドキ！！緊張気味の子どもたちでしたが、お茶筥の持ち方・動かし方を教えてもらい、『シャカシャカシャカ・・・』力が入ってしまったり、初めはなかなか点たなかったのですが、アドバイスを受けると少しずつ泡が点って、それぞれ美味しいお茶になりました。次回もお茶を“点てる”おけいこです。

10月のお菓子

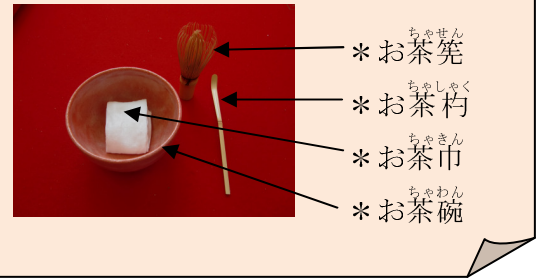


- もみじ
- すず

11月のお花



- ホトトギス



上・下に動かしましょう。
難しいな・・・。



お茶どうぞ



無心で点てる子ども達



ゴクゴクゴク・・・。

お茶の歴史 (2) 「茶道のはじまり」

お茶が中国から伝わってぜいたくなものとして飲まれていたものを、室町時代に村田珠光という人が、禅宗の精神にそった簡素で落ち着いた四畳半の狭い草庵での茶(わび茶)を考え出されました。それを茶道として確立させたのが千利休と云う人です。

千利休が「和・敬・清・寂」の目標を立てたお茶の心は、裏千家16代家元の現在に至るまで脈々として引き継がれています。

子供たちと一緒にお茶のおけいこを通して、少しでも“和敬清寂”のお茶の心を学び、きれいな気持ちで暮らしたいものです。